

一般質問（要旨）

「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。
 要旨は1～2問とし掲載しました。
 会議録は1月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。
 また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。
 なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。
 ※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



学童クラブについて



正和会
 武藤 政義 議員



質問 令和4年度当初予算に盛り込まれた福生第一小学校内の学童クラブ設置の進捗を伺う。また、学校内に学童クラブがない他の小学校の状況と、今後の展開についても伺う。

市長 福生第一小学校内の学童クラブについては設置工事が完了し、令和5年4月から子どもたちを迎える準備を行っている。学校内に学童クラブのない2校について、福生第

四小学校は設置の方向性を調整中で、福生第五小学校は経路の安全面等から校内への設置が急務であり、令和6年4月からの校内設置を目指し準備を進めている。引き続き市内の全小学校の中に学童クラブを設置する計画を適切に推進していく。

多摩橋通りの工事について

質問 工事の進捗状況を伺う。

市長 東京都西多摩建設事務所に

確認したところ、アンダーパスの掘削工事は既に完了し、現在は擁壁を含めた周辺の工事に着手しており、令和7年1月頃完了予定。その後の整備を含め完成までには数年を要し、道路開通時期は現時点では未定とのこと。市としては交通渋滞の緩和や歩行者の安全性向上のため、引き続き都に対して1日も早い完成を要望するとともに全面的に協力していく。



▲工事が行われている多摩橋通り

福生駅西口地区市街地再開発事業に係る公共公益施設整備について



正和会
 小林 貢 議員



質問 令和5年12月に着工予定となっているが、事業の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

市長 再開発事業に係る公共公益施設整備については、市ではこれまで当該再開発の事業地区内にスポーツアクティビティや文化発信交流などの諸機能を導入した公共公益施設の整備を計画し、令和3年度に福生駅西口地区市街地再開発準備組合に

よる基本設計を終えた。令和4年度は、準備組合から公共公益施設設計の詳細や事業内容について提案の説明を受け、質疑や検討を進めてきた。一方、昨今の世界的な建築資材の価格高騰による影響が懸念されることに加え、活用を見込んでいた都市構造再編集中支援事業補助金について、所管の国土交通省から現計画の一部スペースの整備費が対象外であると

の指摘を受けた。現状のままでは補助金の減額と各種コストの増加により建物取得について合意できないことが見込まれたため、資材高騰の状況等を見定めつつ、スケジュールや設計の見直し等の協議を始めた。市でも、他の財源や施設計画の工夫で補助を受けやすくできないかなど、あらゆる手立てを模索し、国や東京都との折衝を始めている。



福生市における英語教育の現状と今後の取組について



正和会
 山崎 貴裕 議員



質問 本市における令和4年度スコア型英語4技能検定(GTEC)の状況について伺う。

教育長 令和4年3月に策定した福生市英語教育推進計画第2次に基づき、中学3年生に対し公費受検を実施した。英語を読む、聞く、書く、話すの4技能を総合したスコアで本市は全国平均を上回ったが、「話す」はまだ目標に満たないことから、

今後も生徒の英語の発話量を増やし、実際のコミュニケーションで活用できるように授業改善を推進していく。

東京都の体験型学習施設について

質問 都が立川市に新設する体験型学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS」での学習に期待することや、具体的な活用計画を伺う。

教育長 当施設はデジタルとリアルを組み合わせ、世界中から来日し

た多様な文化と価値観を持つイングリッシュ・スピーカーと交流し、英語を話したくなるプログラムを体験できる。本市では市内小学5年生と中学2年生の全児童・生徒が令和5年3月までに体験する計画である。児童・生徒の視野を広げ、英語が通じた成功体験、言いたいことが話せない失敗体験も含め、英語学習の動機を高める機会としたい。



▲TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS

福生駅西口地区市街地再開発について



公明党
 堀 雄一郎 議員



質問 誘致される産業や、にぎわいの創出と住宅整備への所見を伺う。

市長 本事業は準備組合と市の公民連携によるもので、にぎわいの創出について、民間店舗との連携を視野に入れる必要がある。今後、店舗に入る事業者等が固まり次第、公共公益施設との連携のもと、どのようににぎわいの創出を行うか協議していく。創業支援等に関しては、現在、

公共公益施設への導入は想定していないが、マルチスペースの整備も予定しているため、民間企業に利用いただくことや、準備組合で産業誘致や起業支援について意見交換することも可能。なお、当該地区には178戸の住宅整備を見込んでいる。

高齢者補聴器の購入費助成について

質問 本市もぜひ制度の導入を検討いただきたいが、所見を伺う。

市長 都内のいくつかの自治体が助成していることは認識しているが、加齢性難聴は高齢者全てに起こり得るため、自治体ごとにサービスに差が生じないように、国や東京都が主体となって実施すべきと考えている。そのため東京都市長会から都へ補助の充実を要望している。現時点で実施の予定はないが、国または東京都の補助が充実した場合に検討したい。

